

## 川口在シェムリアップ領事事務所長、上智大学のアンコールワット西参道修復現場を視察

23日、川口在シェムリアップ領事事務所長は、上智大学アジア人材養成研究センターの三輪悟アンコール・ワット修復工事所長の案内で、アンコールワット西参道の修復現場を視察しました。

上智大学は、カンボジア政府からの要請を受け、1996年からアンコール地域遺跡保護管理(APSARA)機構と共にアンコールワット西参道の修復工事に取り組んでおり、2007年に第一期工事が完成しました。現在、2016年に開始した第2期工事が進められており、カンボジア人保存官が炎天下で修復作業に従事されていました。

同作業現場では、日本政府が2013年度一般文化無償で供与したクレーンなどの機材が活用されていました。

アンコールワットは、12世紀前半にスーリヤバルマン2世によりヒンドゥー教のヴィシュヌ神を祀る寺院として、王の墳墓として建立され、クメール建築の最高傑作と言われており、カンボジアの象徴として国旗にも描かれています。

